

令和7年度 柏市

## 風しん抗体検査・予防接種の説明書

### 1 風しんについて

風しんは、風しんウイルスに感染後、約14日～21日の潜伏期間を経て発症します。その後、淡い色の赤い発しん、発熱、首のうしろのリンパ節の腫れなどが生じ、せき、鼻汁、目が赤くなる（眼球結膜の充血）などの症状がみられることもあります。大人がかかると、ひどい関節痛が生じることもあります。妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、聴力障害、精神発達遅滞などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

### 2 風しん抗体検査について

風しんの抗体検査は、採血により風しんに対する免疫があるかどうかを調べる血液検査です。

【対象者】 次の1～4の全てを満たす柏市民

1 妊娠を希望する女性とその同居者※又は妊婦の同居者※

※ 同じ家に住んでいるかた

2 過去に風しん抗体検査を受けたことがない

3 過去に風しんの予防接種（麻しん風しん混合（MR）ワクチンを含む）を受けたことがない

4 過去に風しんにかかったことがない

【期間】 令和7年4月1日（火）～ 令和8年3月31日（火）

※ 検査結果の説明も期間内である必要があります。令和8年3月に抗体検査を受ける場合にはご注意ください。

【場所】 原則として、柏市予防接種指定医療機関

【費用】 無料

【助成回数】 1人につき1回限り

【方法】 問診及び血液検査

※ 採血後、結果が出るまでに2～3週間かかることもあります。

※ 検査結果は必ず、検査を受けた医療機関で説明を受けてください。

【検査結果】 十分な量の抗体がない（基準値：HI抗体価 16倍以下）と判定された場合、柏市風しん予防接種費用助成対象となります。

※ 風しん抗体検査の結果が陽性（基準値を上回る）の場合でも、風しんにかからないことや、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれないことを保証するものではありません。検査結果やその後の予防接種の必要性については、医師とよくご相談ください。

裏面もご確認ください



【問い合わせ先】 柏市 健康増進課 予防接種担当

TEL 04-7128-8166 FAX 04-7164-1263

### 3 風しん予防接種について

風しん予防接種は、風しんウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種によって、約95%以上のかたに抗体がつくとされています。

【対象者】 次の1～4の全てを満たす柏市民

- 1 風しん抗体検査の結果、HI抗体価 16倍以下相当と判定されたかた
- 2 妊娠を希望する女性とその同居者※又は妊婦の同居者※

※ 同じ家に住んでいるかた

- 3 過去に風しん（麻しん風しん混合（MR））の予防接種を受けたことがない
- 4 過去に風しんにかかったことがない

【期間】 令和7年4月1日（火）～ 令和8年3月31日（火）

【場所】 原則として、柏市予防接種指定医療機関

【助成額】 風しんワクチンの場合 3,000円

麻しん風しん（MR）混合ワクチンの場合 5,000円

【助成回数】 1人1回限り

【助成方法】 医療機関窓口で接種費用から助成金額を引いた金額をお支払いください。金額は医療機関によって異なります。

※ 指定医療機関以外で接種された場合は、年度末までに申請が必要となります。詳しくは柏市ホームページをご確認ください。

#### 【副反応】

##### ① 風しん予防接種

主な副反応は発しん、じんましん、紅斑、掻痒（かゆみ）、発熱、リンパの腫れ、関節痛などが認められています。稀に生じる重い副反応としては、ショック、アナフィラキシー様症状があり、また、血小板減少性紫斑病（100万人接種当たり1人程度）が報告されています。

##### ② 麻しん風しん混合（MR）予防接種

主な副反応は発熱や発しんです。過敏症状として、接種直後から翌日にみられることがあります。これらの症状は通常1～3日でおさまります。接種部位の発赤、腫れ、硬結（しこり）、リンパ節の腫れ、掻痒（かゆみ）等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎及びけいれん等が報告されています。

#### 【次のかたは予防接種を受けることができません】

- ① 明らかな発熱を呈しているかた（体温が37.5℃以上のかた）
- ② 重篤な急性疾患にかかっているかた
- ③ 接種する予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがあるかた
- ④ 免疫不全等の疾患の診断を受けたかた、免疫抑制をきたす治療を受けているかた
- ⑤ 現在妊娠しているまたは妊娠の可能性があるかた（接種後2か月間は避妊が必要です）
- ⑥ その他、医師が予防接種を行うことが不適当な状態と判断した場合

#### 【注意点】

- ① 生ワクチンからは27日以上、接種間隔をあけてください。
- ② 風しん予防接種を接種した人の咽頭（のど）から接種1～2週間後にワクチンウイルスがでてくる場合がありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦の家族のかたが接種を受けられても心配はありません。
- ③ 予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。
- ④ 接種した当日の入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動をひかえ、体調をよく観察してください。

#### 【予防接種による健康被害救済制度】

風しん予防接種は任意予防接種となり、健康被害が発生した場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による「医薬品副作用被害救済制度」の対象となります。千葉県感染症対策審議会にて審議され、予防接種によるものと認定された場合には、千葉県市町村総合事務組合による救済の対象となります。